



ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation

復旧から復興へ -地域の力を引き出す支援とは-

(公財) ほくりくみらい基金
永井三岐子

2025.8.3

永井三岐子（ながいみきこ）



ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation

- 環境分野の国際協力（モンゴル、タイなど）
- 2014-22年国連大学石川金沢ユニットで県内自治体とSDGsを推進、県内には6つの未来都市認定
- 2023年4月一般財団法人ほくりくみらい基金設立
- 石川県金沢市出身

現在

- （公財）ほくりくみらい基金代表理事
- 学校法人稲置学園非常勤理事
- アステナホールディングス株式会社社外取締役
- 金沢市市民協働推進委員ほか



ほくりくみらい基金



ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation

2223年4月265人の発起人により設立された市民立財団

<ビジョン>

「未来はつくれる！」と誰もが思える社会の実現

<ミッション>

- ・ お金のあたたかな循環をつくる
- ・ 仲間づくりのプラットフォームになる





ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation

ほくりくみらい基金の4つの活動

1. 市民活動団体への助成
2. 寄付の促進
3. 課題の発信と対話の場づくり
4. プロボノ・ボランティアマッチング



地震から1年7ヵ月経ちまし
た

令和6年能登半島地震（1月1日16:30発災）



ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation

令和7年6月10日現在

死者.....596人

災害関連死....368人

重軽傷者.....1,270人

家屋被害.....116,197棟

(全壊6,151棟、半壊18,674棟、一部破損
浸水など91,373棟)

R7年4月11日：最後の避難所閉鎖



資金調達と助成実績



プログラム (公募期間)	申請件数	採択件数	助成総額
震災緊急助成(1次～6次)	116	80	14,600,000円
豪雨災害支援緊急助成(1次～3次)	57	37	6,978,396円
つづける助成(復興支援)	48	11	30,490,135円
工芸作家応援基金(現在公募中)	6	6	300,000円
サントリー能登復興みらい基金	8	5	5,000,000

8月 1 日現在 第7次助成団体選考中

支援実績：累計事業139 57,368,531円

8月1日公募開始！



ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation



ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation

令和6年能登半島地震・能登半島豪雨支援
のこす・つたえる・つながる助成
supported by LINEヤフー





ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation

復興の難しさ（超高齢化）

- 仮設住宅の建設にも時間がかかり、その間住民の域外避難が進んだ
- 石川県の住民票に基づく発表では、珠洲市、輪島市の人口は其々震災後に9%程度減少しているが、東京大学が携帯情報を元に調べた結果では2023年と比べて30%以上人口が減少している
- 65歳以下の人口減少率が大きい



	人口 (2024年11月・推定)	減少率 (2023年12月比)
輪島	約1万6000人	30% ↓
珠洲	約7900人	37% ↓

LocationMind xPop (c) LocationMind Inc

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20250105/k10014685211000.html>

住宅支援策の現状



ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation

- 【スピード感の課題】 能登全体では災害公営住宅への入居は早くとも27年前半となる見込みそれまでは仮設住宅か広域避難
- 【負担増】 災害支援住宅に現役の子育て世代が住むと、3年後から収入に応じて追加負担が生じ大きな負担となり、子育て世代の能登離れが進むのではないかという懸念あり
- 【コミュニティの存続】 行政のアンケートでは7割の仮設の住民が住んでいたところに戻りたいと答えている
- 【まちづくりのビジョン】 行政が公費解体をスピードアップさせる途中で、解体ではなく古民家利活用を打ち出し、住宅政策の方向性や哲学が共有されない



ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation

住宅不足が復興の足枷に

- 能登の人の住む家がない
- 元々空き家であった古い家屋、少し直せば住めるような住居も公費解体に（申請は4万件余り）



6月珠洲市正院町



ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation

住宅不足が復興の足枷に

- 復旧を担う工事関係者、建設関係者ボランティアや中長期滞在者



外浦の未来を考える会 6次助成

住宅不足が復興の足枷に



復旧を担う工事関係者、建設関係者ボランティアや中長期滞在者の拠点が無い



門前クリーンビーチ大作戦 6次助成



門前RQ, 6次助成

仮設住宅における生活基盤と心のケア

QOLの視点



ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation



外浦の未来を考える会 6次助成



ふくしまっこチャレンジスクール事業 6次助成

復興まちづくりの難しさ



ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation



- まちづくりの専門的知識
- 既存のパワーバランスとしくみ
- 長期的視点vs短期的視点
- 意見集約の専門的伴走
- 伴走者や専門家ガチャ

共創するための信頼関係づくり



ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation



建築プロティアネット 続ける助成報告より

共創するための信頼関係づくり



ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation

- 住宅個別相談から集落まるごとの相談へ
- 集落内のきめ細かい住宅の融通や活用方法が可能に
- 住民がみんなで集落を考え
1世帯→7世帯
- 内側からの共感
- 時間がかかる→時間をかける
- 「地域の声」は誰の声か





ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation

支援される人を支援する人に

ほくみのクラファン絶賛応援募集中!!



ほくりくみらい基金

公益財団法人

寄付をする

【被災地×食×つながり】能登の知恵と味を金沢で体験！郷土料理と自然の時間を



支援総額

208,000円

69%

目標金額 300,000円

👤 サポーター

27人

📅 残り

58日

2025年09月30日 23時59分 まで

寄付をする



ニーズが見えにくいグループ支援事業（2024/6-2025/3）

復興フェーズへと移行する中での女性支援

➤ 能登の女性お疲れさん会



➤ 若年女性の自己肯定感向上ワークショップ



課題解決、復興まちづくりの担い手の掘り起こしと育成

➤ 能登の女性による団体と連携し支援活動を展開

➤ 活動団体立ち上げ支援

➤ 域外の女性とのつながりづくり（鶴岡ナリワイプロジェクト、気仙沼つばき会）によるエンパワーメント



能登の社会、経済を支えるグループ



支援の担い手としての多文化人材



ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation



一歩を始める女性たちに学びあいの場を



ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation

ほくみの学校プチ *petite!*

動き出した女性たちへ





ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation

ご清聴ありがとうございました。



能登とともに基金を周りにご紹介ください！